

2025年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月7日

上場会社名 新日本製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4931 URL https://corporate.shinnihonseiyaku.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 後藤 孝洋
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役COO (氏名) 福原 光佳 (TEL) 092(720)5800
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第1四半期の連結業績(2024年10月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	10,471	5.3	1,529	31.1	1,553	32.6	1,036	32.3
2024年9月期第1四半期	9,941	7.4	1,167	39.0	1,171	39.4	783	39.6

(注) 包括利益 2025年9月期第1四半期 1,012百万円(27.5%) 2024年9月期第1四半期 794百万円(41.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第1四半期	48.57	48.49
2024年9月期第1四半期	36.41	36.27

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第1四半期	25,976	20,888	80.3
2024年9月期	27,222	21,792	79.8

(参考) 自己資本 2025年9月期第1四半期 20,861百万円 2024年9月期 21,718百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2025年9月期	—	—	—	—	—
2025年9月期(予想)	—	0.00	—	52.00	52.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 2024年9月期期末配当金の内訳 普通配当 35円00銭 記念配当 10円00銭(ギネス世界記録(TM)認定記念配当)

3. 2025年9月期の連結業績予想(2024年10月1日~2025年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,350	3.5	2,110	1.6	2,120	1.8	1,460	4.1	68.89
通期	42,000	4.9	4,500	7.7	4,520	10.2	3,100	10.9	146.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年9月期1Q	21,855,200株	2024年9月期	21,855,200株
② 期末自己株式数	2025年9月期1Q	734,573株	2024年9月期	280,773株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年9月期1Q	21,347,777株	2024年9月期1Q	21,532,265株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2025年2月7日(金)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会をオンライン配信する予定です。この説明会で使用する決算補足説明資料は、TDnetで本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加により緩やかな回復が続きましたが、不安定な国際情勢や円安を背景とするエネルギー価格や物価の高騰等に伴い依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような市場環境のもと、当社グループは『美と健康の「新しい」で、笑顔あふれる毎日をつくる。』というパーパスの実現に向けて、中期経営計画「Growth Next 2027」に基づき重点活動に取り組みました。

通信販売において、化粧品の「PERFECT ONE」では、ナイトクリームをはじめとした冬季限定商品販売等のLTV最大化への取り組みを行い、国内売上高は想定通りに進捗しました。また、オールインワン美容液ジェルシリーズは、顔用保湿ジェル市場売上シェア世界No.1(※)として、2年連続でギネス世界記録(TM)に認定されました。海外販売を含むブランド売上高では減収となりましたが、新商品「クリアクレンジングバームオイル」の発売等、ミドル世代の獲得に向けた取り組みを推進しております。「PERFECT ONE FOCUS(パーフェクトワンフォーカス)」では、主力商品のクレンジングバームの好調トレンド継続に加え、人気キャラクターを起用した限定デザインパッケージの発売により、大きく増収しました。また、ECモールQoo10主催の“Qoo10 AWARDS 2024”で最優秀賞を受賞し、若年層の認知度はさらに拡大しています。ヘルスケアでは、「Fun and Health」の主力商品である機能性表示食品「Wの健康青汁」の定期顧客数の増加による成長継続に加え、「Slimore Coffee(スリモアコーヒー)」の新規顧客獲得が好調に推移したことで、高い成長率を継続しました。また、Wellness Foodにおいては、投資効率を重視する広告投資戦略を推進し、基盤強化に向けた取り組みを進めております。

卸販売において、1店舗当たり売上高の拡大を重視する戦略のもと、化粧品の「PERFECT ONE」では店舗数拡大にも取り組み、ドラッグストア展開店舗数は着実に増加しました。「PERFECT ONE FOCUS」では、大手ドラッグストアやバラエティショップにおける店頭での販促施策を強化し、好調が継続しました。また、インバウンド需要の拡大に伴い、訪日外国人へ向けた多言語対応の戦略的マーケティングを強化し、販売が拡大しました。

「Wellness Food」は、PB商品の展開強化を推進し、今後の堅調な成長を見込んでおります。

海外販売においては、米国にてインフルエンサーとのタイアップ等によるブランド認知度向上に取り組みながら、テスト販売を継続しました。また、米国のAmazonにて「PERFECT ONE FOCUS」のクレンジングバームが“Amazon's Choice”に選定され、注目度が高まったことで新規顧客獲得が着実に進みました。アジア市場では、事業戦略見直しによる売上高への影響がありますが、第1四半期にて概ね収束しております。現地市場調査をはじめとした戦略の再構築を進め、同時にフィジビリティスタディを再開いたします。

(※)TFCO株式会社調べ「最大の顔用保湿ジェルブランド」

(パーフェクトワン オールインワン美容液ジェルシリーズ 2023年1月～12月販売実績)

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,471百万円(前年同期比5.3%増)、営業利益は1,529百万円(前年同期比31.1%増)、経常利益は1,553百万円(前年同期比32.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,036百万円(前年同期比32.3%増)となりました。

また、当社グループの事業セグメントは化粧品、ヘルスケアに関わる商品の通信販売、卸販売及び海外販売であります。卸販売及び海外販売の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、1,246百万円減少して25,976百万円となりました。これは主に、棚卸資産が526百万円増加した一方で、現金及び預金が770百万円、売掛金が819百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて、342百万円減少して5,087百万円となりました。これは主に、買掛金が364百万円増加した一方で、未払金が144百万円、未払法人税等が372百万円、賞与引当金が145百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて、903百万円減少して20,888百万円となりました。これは主に、自己株式が881百万円増加(純資産は減少)したことによるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,341	15,570
売掛金	4,291	3,471
棚卸資産	2,028	2,554
その他	446	429
貸倒引当金	△44	△35
流動資産合計	23,062	21,991
固定資産		
有形固定資産	1,953	1,923
無形固定資産		
のれん	712	686
その他	627	627
無形固定資産合計	1,340	1,314
投資その他の資産	866	747
固定資産合計	4,160	3,985
資産合計	27,222	25,976

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	548	912
1年内返済予定の長期借入金	177	177
未払金	2,270	2,126
未払法人税等	841	468
賞与引当金	229	83
その他	806	791
流動負債合計	4,873	4,560
固定負債		
長期借入金	76	34
退職給付に係る負債	192	192
その他	287	299
固定負債合計	556	527
負債合計	5,430	5,087
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,158	4,158
資本剰余金	4,088	4,071
利益剰余金	13,971	14,037
自己株式	△529	△1,411
株主資本合計	21,688	20,856
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	26	2
退職給付に係る調整累計額	3	2
その他の包括利益累計額合計	29	5
新株予約権	74	27
純資産合計	21,792	20,888
負債純資産合計	27,222	25,976

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
売上高	9,941	10,471
売上原価	2,056	2,086
売上総利益	7,885	8,385
販売費及び一般管理費	6,718	6,855
営業利益	1,167	1,529
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	0	0
受取賃貸料	3	3
為替差益	—	13
その他	3	10
営業外収益合計	7	29
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	3	—
投資有価証券評価損	—	1
情報セキュリティ対策費	—	4
その他	0	0
営業外費用合計	3	6
経常利益	1,171	1,553
特別利益		
投資損失引当金戻入額	6	1
特別利益合計	6	1
税金等調整前四半期純利益	1,178	1,554
法人税、住民税及び事業税	302	432
法人税等調整額	92	85
法人税等合計	394	517
四半期純利益	783	1,036
親会社株主に帰属する四半期純利益	783	1,036

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	783	1,036
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	10	△23
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	10	△24
四半期包括利益	794	1,012
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	794	1,012

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年11月12日の取締役会決議に基づき、自己株式487,000株の取得を行っております。この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が881百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が1,411百万円となっております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	69百万円	73百万円
のれんの償却額	26百万円	26百万円

(セグメント情報等の注記)

当社グループの事業セグメントは化粧品、ヘルスケアに関わる商品の通信販売、卸販売及び海外販売であります。卸販売及び海外販売の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメントごとの記載を省略しております。